

在宅高齢者福祉サービス・手当

在宅高齢者を対象にしたサービスです。 問高齢介護課 ☎32-1293 ID1001466
 内容や利用方法など、詳しくは問い合わせ *のサービス・手当については福祉課 (☎32-1278) まで
 てください。

介護が必要な方など

●高齢者外出支援サービス

内容	居宅から医療機関などへ移送用車両で送迎する ※市の指定する区域に限る
対象	要介護3～5の状態である65歳以上の方
利用回数	1カ月に2回 (片道で1回)

●訪問理美容サービス

内容	居宅に訪問して、頭髮のカットを行う
対象	要介護3～5の状態である65歳以上の方
利用回数	2カ月に1回

1人暮らしの方など

●緊急通報システム*

内容	急病や緊急時に機器のボタンを押すこと、およびセンサーの感知で、緊急通報センターにつながり助けを呼ぶことができる緊急通報機器を設置する
対象	・65歳以上のひとり暮らしで持病がある方など ・75歳以上で構成された世帯の方

●給食サービス*

内容	平日の昼食を自宅まで配達する
対象	65歳以上のひとり暮らしで調理が困難な方など
費用	普通食：1食160円～350円 特別食：1食450円～650円 ※メニューや配達業者により値段が異なります

●寝具の洗濯乾燥サービス*

内容	自分で洗濯することが困難な方などに布団の洗濯、乾燥サービスを行う
対象	・65歳以上のひとり暮らしの方 ・65歳以上で構成された世帯で、稲沢市ねたきり老人手当を受給している方

その他の福祉サービス

●徘徊高齢者家族支援

内容	徘徊癖のある認知症高齢者を介護している家族に位置探索専用端末機を貸し出す
対象	徘徊が見られる認知症の65歳以上の方を介護している家族など
費用	一部自己負担が必要

●稲沢市高齢者等安心おかえりネットワーク

内容	事前に情報を登録し、徘徊により行方不明になった場合、協力事業者へ情報を提供する
対象	在宅で認知症により徘徊の恐れのある高齢者

●認知症高齢者等個人賠償責任保険

内容	他人の身体または財産に損害を与え、損害賠償責任を負った場合に補償する
対象	上記のおかえりネットワークに登録している方

●家族介護慰労金支給事業

対象	65歳以上で介護保険の要介護度が4・5と認定され、過去3カ月以上の入院および1年間介護保険サービスを受けなかった方を介護している市民税非課税世帯の方 (施設入所者など除く)
支給額	100,000円

●ねたきり老人手当、認知症老人手当*

対象	65歳以上でねたきり状態または認知症状態が3カ月以上続いており、本人の前年所得が200万円以下の方 (施設入所者など除く) ※受給できる手当はどちらか一方
支給額	月3,000円 (9月・3月に支給)

認知症とともに生きる地域を目指して ～9月は世界アルツハイマー月間～



認知症についての正しい知識を学び、理解を深め、本人と家族介護者への支援を考えることで、認知症とともに自分らしく暮らすことのできる地域の実現を目指しましょう。

問高齢介護課 ☎32-1293

認知症本人のつどい

ID1010059

時10月31日(月)、午前10時30分～正午
 場市役所会議室7・8
 対市内在住で認知症の診断を受けた方
 内認知症の本人同士、不安に思っていること、やりたいことなど、日ごろの思いを語り合う
 申9月1日(木)から、電話 (☎22-6077) で基幹型地域包括支援センターへ

脳の健康講座

ID1001494

時11月1日・15日 (火曜・全2回)、午後2時～3時30分
 場大里西公民館大研修室
 対市内在住の65歳以上で、介護認定を受けていない方 ※今年度、既に受講した方は除く
 定15人 (先着)
 内認知症についての講話、脳のトレーニング、認知症予防体操など
 申9月1日(木)から、電話で高齢介護課へ
 他運動のできる服装・靴で参加してください

学ぼう！ 認知症とその対応 (認知症サポーター養成講座)

ID1001503 申込書ダウンロード可

場市内に限る (場所の確保は申込者で行ってください)
 対市内在住・在勤・在学の10人以上で構成されたグループ (50人以上の場合は申込前に相談してください)
 定年間20組 (先着)
 所要時間 90分程度 (平日のみ。午前9時～午後5時)
 内認知症についての正しい知識や、認知症の方と接するときの心構えなどについて学ぶ
 申日程・会場を決め、開催日の45日前までに申込書に記入の上、高齢介護課へ

認知症サポーター ステップアップ講座

ID1008193

時11月18日、12月2日・16日 (金曜・全3回) 午後1時30分～3時30分
 場勤労福祉会館多目的ホールほか
 対市内在住・在勤・在学の認知症サポーター養成講座を受けた方で、市内でボランティア活動のできる方
 定35人 (先着)
 内認知症サポーターとしての知識を深め、認知症とともに生きる地域づくりのためにできることを考える
 申9月5日(月)から、電話 (☎22-6077) で基幹型地域包括支援センターへ